

櫻沢 保議員

美里町空き地バンク制度及び空き家バンク制度の現状と課題について

答 利用実績はない。固定資産税の納税通知書に制度のお知らせを同封等し空き家対策に取り組みたい(町長)

問 町は、平成29年12月から空き地の有効活用により荒廃防止と町内への定住促進による地域の活性化を図るため、空き地を売りたい・貸したい方、また、空き地を利用・購入したい方をバンクに登録し、相互に必要な情報を提供するものとして「美里町空き地バンク制度」を開始。この制度の現状等について

町長 10人の方から宅地2件・雑種地1件・農地19件の計22件の相談があるが、住宅建設が難しい土地等のため、登録・貸付・売却実績はない。

問 町では、埼玉県北部の6市町と連携して「空き家バンク制度」を実施中。同制度は、空き家となっている利用可能な建物のうち、所有者が売却・賃貸を希望する物件を登録し、その情報をホームページなどで町内に移住・定住を希望する方などに広く情報提供するもの。この制度の現状等について

町長 ①現在、美里町に空き家は、何件あるのか。空き家対策をどのように進めているのか。

②空き家バンク制度への登録件数は何件あり、うち貸付件数・売却件数は何件か。

③空き家バンク制度の活用が十分ではないと聞くが、その理由・原因等は何か。

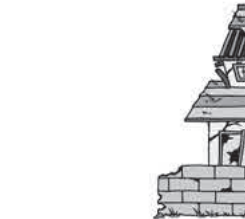
①空き地バンク制度への登録件数は何件か。うち貸付件数・売却件数は何件か。
②制度の利活用が十分ではないと聞くが、その理由・原因等は何か。

①現在、美里町に空き家

は、何件あるのか。空き家対策をどのように進めているのか。

②空き家に関する苦情等は年5件程度ある。シルバ人材センターと協定書を締結し、平成30年度は空き家に関する除草等の依頼が6件あり

③制度の利活用が十分でない主な原因は、「関心がない」「解体費用がない」「愛着があるのでそのまま」「売却等の相手が見つからない」ことなど。



ピカピカの空き家：もったいない
ボロボロの空き家：負の財産・いずれかの日に取り壊しが必要



田端 恵美子議員

学校におけるアレルギー対策について

答 児童生徒や保護者のニーズをしつかり把握し、安全な給食の提供に努めます(教育長)

問 アレルギー疾患は、近年患者数が増加しており、花粉症だけではなく、ぜんそく、アトピー性皮膚炎、食物アレルギーなど、さまざまなアレルギー疾患があります。きめ細やかな対策が欠かせない中、学校給食における食物アレルギーへの対応は万全なのか、学校のアレルギー疾患に対する取り組みや食物アレルギー疾患を学校に申し出た児童生徒にどのような対応をしているのか、お伺いします。

大きな事故を引き起こす可能性もあります。そこで、町内の小中学校では年度当初に各家庭より保健調査票を提出していただき、アレルギーを持つ児童生徒を把握しています。そのうち緊急時連絡先に医療機関、病院の記載がある児童生徒は数名います。

また、町内小中学校では全ての学校でエビペンの使用のための研修を実施し、全教職員が使用できるようにになっており、緊急時対応マニュアルも準備するなど、事故防止と事故があった場合の対応に努めています。

加えて、重篤なアレルギー症状が発生した場合、保護者から事前に申し出があった病院名等を消防署に迅速に情報提供できるよう、緊急搬送時における連携も行っています。

また、町内小中学校では全ての学校でエビペンの使用のための研修を実施し、全教職員が使用できるようにになっており、緊急時対応マニュアルも準備するなど、事故防止と事故があった場合の対応に努めています。

今後当該児童生徒や保護者のニーズをしつかり把握し、安全な給食の提供に努めます。

また、町内小中学校では全ての学校でエビペンの使用のための研修を実施し、全教職員が使用できるようにになっており、緊急時対応マニュアルも準備するなど、事故防止と事故があった場合の対応に努めています。

教育長 学校給食では食物アレルギー対応について一つの小さなミスが重

いかなる事故を引き起こす可能性もあります。そこで、町内の小中学校では年度当初に各家庭より保健調査票を提出していただき、アレルギーを持つ児童生徒を把握しています。そのうち緊急時連絡先に医療機関、病院の記載がある児童生徒は数名います。

加えて、重篤なアレルギー症状が発生した場合、保護者から事前に申し出があった病院名等を消防署に迅速に情報提供できるよう、緊急搬送時における連携も行っています。

加えて、重篤なアレルギー症状が発生した場合、保護者から事前に申し出があった病院名等を消防署に迅速に情報提供できるよう、緊急搬送時における連携も行っています。



根本 孝代 議員

副町長の後任は どうするのか

答 今後、町にとって有益となる人を配置したい（町長）

平成29年4月から国

の地方創生人材支援制度により派遣をいただいている副町長の派遣期間が平成31年3月末日と聞いていますが、副町長の後任についての案件が議案書に記載されていません。副町長を置かないつもりなのか、その役割や配置しない理由について伺います。

か伺います。

副町長の後任については、新たな人を配置すべく検討を重ねています。今後町にとって有益となる人を配置したいと考えており、調整がつき次第、議会の皆様にご協議いただきま

す。

また、町長と職員との報告、連絡、相談がうまく行っていないとの話を聞きますが、現在職員から町長への報告等はどうでしょうか。どのような報告等が町長になされるのがよいと考えているの

職員から私への報告、連絡、相談の指摘ですが、美里町事務決裁規程に基づき、職員は必要な事項について私の決裁を受けなければならぬとされていることから、私への報告、連絡、相談は行われていると考えています。また、各課局で新たな課題や問題等が発生した場合でも、課局内

美里町職員の災害時の対応について

通常、地震や雪害、台風などの災害時、防災関連の部署や土木、農業などに関連する部署は、災害のレベルが低くても出勤しています。このような部署でなくても、東日本大震災級の大地震ともなれば、職員全体がいち早く駆けつ

いざ、災害が発生し、交通網が遮断された場合、役場の近くであれば徒歩で参集することが可能ですが、町外の職員は相当の時間がかかることが想定されます。町ではこのような事態を想定し、災害発生から時間を経過することに参集する

け、町民の安全確保のための諸活動を積極的に、また協力して行わなければなりません。大震災の場合、職員は自家用車や自転車、徒歩などで美里町役場に参集するわけですが、職員個々の出勤状況の把握はなされているのでしょうか、伺います。

職員の出動状況をあらかじめ予想し、登庁した職員の数に応じた災害対応を定めた美里町業務継続計画を平成26年7月に作成しています。

また、平成31年度には職員初動マニュアルを作成し、平時の訓練から災害の対応、職員の参集方法を明確化し、より一層防災意識の向上を図ります。



空き家対策について

清水 貞夫 議員

答 空き家バンクの積極的な運用を図っていききたい（町長）

空き家対策と農地の有効活用で都会からの移住者を求め、豊かな農地を生かした集落を復活し、高齢化や人口減少が進むこれらの有効な生き残りの対策について伺います。

①移住者や営農希望者にPRできるモデル施設づくり。
②移住者や農業を希望する人たちに対して空き家、農地の借地、農業指導等を進める環境づくり。

国の調査によると、都内に住む人の約3割が地方へ移住したいと回答し、また、移住希望者の多くが農林漁業に関心を持っている結果となっています。この

ことから移住支援策として農業と絡めて町に興味を持ってもらえるような環境づくりが必要と考えています。その有効な手段の一つが空き家の活用ですが、現在空き家バンクの登録がないことなどから、モデルとなるような事例はあまりありません。移住者や営農希望者に対して空き家、農地の賃貸、農業指導等を行う環境づくりについても、現在空き家の登録がないことから活用できない状況です。

農地の活用については、農地つき空き家等の提供が有効だと考えられます。今後も空き家バンクの積極的な運用とあわせて農地の有効活用を図

ていきたいと考えています。

太陽光発電と今後の土地活用について

①町全体の太陽光発電施設の地目別面積はどのくらいか。②フェンス設置等の安全対策や自然災害に対する備えとして、町の指導はどのように行われているのか。③将来企業等の進出に

対し候補地選定の妨げとならないよう発電施設の許可等が配慮されているのか。

太陽光発電施設は、建築基準法上の構築物、工作物ではないことから、全ては把握できてい

ません。町が把握している事業用太陽光発電施設や営農型太陽光発電施設は、雑種地宅地を合わせて22・4ヘクタール、農地22・7ヘクタール、山林7・7ヘクタールです。

安全対策については、施設の周辺には外部からの侵入防止のためフェンス等を設置することが義務づけられています。しかし、営農型の太陽光発電施設については、営農に支障がある場合は設置しないことができるため、施設の設置者に対して対策を講じるようお願いしています。また、自然災害対策については、土砂や雨水の流出の危険性がある大規模な太陽光発電施設の

パトロールを定期的に行い、状況把握に努めています。小規模な施設については事後対応となっています。

太陽光発電施設の設置には許可を必要としないため、町が意見できない状況です。現在の要綱は企業等の進出の妨げに対する取り決めがなく、また規制や罰則等が適用できないことから、有効な方法を引き続き研究していきます。



太陽光発電施設では、ケーブル盗難等が増えています。不審な人を見かけたら110番！



防災訓練、しっかりしようね♪

